



理念

- 1、乳幼児期の子どもの最善の利益を守る保育園
- 2、親・地域の多様な子育ての要求を受け止め、
助ける保育園
- 3、すべての子どもたちが健やかに育ち、すべての
ものの生命を大切にし、平和な社会をめざす保育園

めざす子ども像

- 1、心身ともに健康な子ども
- 2、自分の要求を持ち、豊かに表現し
実現しようとする子ども
- 3、自分を大切にし、仲間を大切にする子ども

保育目標

- 1、子どもの人格を尊重し、子どもの全面発達を保障する
- 2、保護者と子育てを共同する
- 3、保育園の社会的役割を果たす

いちばん大切なこと

ドロシー・ロー・ノルト

●子どもの言葉に耳をすませる

子どものことをよく知るいちばんのいい方法は何だと思われませんか。それは、「こどもとコミュニケーションをとることです。小さいときには、まなざしで語り合い、もう少し大きくなれば言葉を使って語りあえるでしょう。

子どもと話す時には、上の空ではいけません。集中して相手になつてあげましょう。

大事なのは、「こどもの言葉を聞くことです。子どもの心が発しているメッセージを聞き取ることはもつとも大切です。ただ聞いているだけで、ほんとうにはわかっていない、ということもあるのですから。それでは子どもとほんとうに話していることにはなりません。

もう一つ、アメリカ・インディアンのことわざをしようかいしましょう。

「話を聞くときには、三度聞く必要がある」最初は聞く、次に聞くときには意味を理解する、その次にはほんとうに相手の言いたいことを察して受け止めてあげるといふわけです。

「こういふ聞き方は、こどもと話しをするときに役立ちます。



梅雨の時期に咲く、アジサイは何と約200種類もあるそうです。先日、七夕飾りの、笹をもらいにいく道中でも、鮮やかな色のアジサイを見ることができました。例年、5歳児は笹をもらいに北野にある川瀬さん宅へ行っているのですが、今年はきゅうりとトマトまでいただきました。5m近い笹を全員で持ち、帰り道にKさんが「家族みたいだね」と。私が誰がお母さん?と聞くと「千穂さん」と。じゃ私はと聞き返すと「おばさん」と答えていました。1本の笹を全員で持つことで家族を想像するその子の感性に嬉しくなりました。

先日幼児クラスのことです。3歳児の女子がお漏らしをしました。それを遠くから見ていた5歳児の女子が「だいじょうぶだよ、だれも笑わないから」と。3歳児のその子の表情を見て汲み取った言葉だったのでしょか。なんて優しいことばかけなんだろうと心が温かくなりました。異年齢での保育の良さが出ていて感動しました。

子どもが自ら遊び、興味や関心を持った時に、こどもとおとなとのコミュニケーションが大切だと言われていきますので、そういう関わりを保育園全体で意識していきたいと思えます。

7月の予定

7月	8日(金)	夕涼み会	17:00~18:00
	14日(木)	健康診断	
	19日(火)	職員会議	
	21日(木)	身体測定	
	27日(水)	体験保育	
	28日(木)	健康診断	



*9月の引き取り訓練について

引き取り訓練を9月7日(水)に予定しています。訓練は、いつものお迎え時間の中で引き渡しの確認をします。

昨年、好評でした減災アドバイザーの菊池顕太郎氏による防災の話とまずは備えたい備蓄品の展示を行います。お時間がありましたら、お立ちよりください。(16:30~18:30頃)

緊急引き取り人に登録している人は、引き取り訓練までに、避難場所になっている給田小学校、日本女子体育大学、北野小学校を徒歩で実際に行き確認してください。また、引き取り人が変更になったり、メールアドレスを変更した方は事務室までお申し出ください。